

第2回総括部会の振り返り

1 めざすまちの姿について

(1) 多様なつながりで共に助け合い、認め合う安全・安心に暮らせるまち NAHAについて

- ・「コミュニティ」を「W a」として使用するには一般的でないため、「わ」に込められた複合的な意味合い（「和」「輪」）を積極的に説明すること。さらに、「W a」についても国際性という意味合いを込めた市民提案の内容に沿った説明とすること。
- ・「近助」は市民提案から出てきたものであるため使うべきだと考えるが、注釈の説明に修正を加えること。

(2) 都市機能と自然環境が調和した住みつけたいまち NAHAについて

- ・「リノベーション」は、行政では使われ始めたようだが、一般的には周知されていないために、市民向けに説明する総合計画を意識するならば、別の表現を検討すること。
- ・「国民運動『COOL CHOICE』」は、一般的な言葉になっていないことと、前段で説明されているため削除。
- ・都市機能、自然環境の順番になっているが、自然を先に持ってくること
- ・景観づくりの重要性も認識すること 「那覇らしい景観」 今後も豊かな景観に努めるとともに

2 重点取組事項について

- ・泡盛の「仕次ぎ」は若い人には馴染みがないことと、飲酒というイメージがあるが、古くからあるまちの仕組みにあらたな仕組みを取り入れるということと重なる発想は良いと思えるため、丁寧に説明すること。「古い伝統の中に新しい仕組みを取り入れまちを再生していく」
- ・「地域の力」を「つながる力」に変更すること
- ・「お互いにできることを持ち寄ることで」を積極的な表現にすること

3 基本構想を推進するためにについて

- ・行政が持続するとしているが、行財政が持続するということではないか。「効率的で効果的な行財政運営を行う」が適切である。

4 第1回目の総括部会の振り返りについて

- ・まちづくりの姿勢の「平和の絆」については、平和のメッセージを強く発信するために、「協働の絆」の次に位置づけてもらいたい。
- ・「元気の絆」は、口語的で「活力の絆」は格調が高い表現であるため修正すること。
- ・「共鳴の絆」の「発展の連鎖を響かせる」の表現を修正すること。